



道の駅藤樹の里あどがわ(びわ湖高島観光ガイド)のホームページはコチラから



道の駅 藤樹の里あどがわ

初夏の訪れを感じる6月、高島市安曇川町で旬を迎える幻の果実があります。その名は「アドベリー」。これは本来「ボイセンベリー」と呼ばれる果実に、地域の特産品として親しみやすく名付けられた愛称です。深みのあるえび茶色に色づく実は一粒およそ10g。口に含めば、ほどよい酸味と爽やかな甘さが広がり、どこか懐かしさも感

■ 高島市安曇川特産のアドベリー

初夏に味わう幻の果実



ほどよい酸味と爽やかな甘さが広がるアドベリー=いずれも高島市安曇川町で

じさせる味わいです。この果実は非常にデリケートで、収穫後わずか1〜2日で傷んでしまうため流通量は限られ、市場で見かける機会はほとんどなく、収穫期も6月中旬から7月上旬までと短く、まさに「知る人ぞ知る」存在。さらに、アドベリーの原種である「ボイセンベリー」は、日本ではほとんど栽培例のない希少な果実。安曇川では特産品づくりへの思いから栽培研究を重ねられ、地域ぐるみでブランド



収穫後のアドベリー

として育てられてきました。果実は雨や傷みに弱く、栽培にも手間がかかるため、生産者の丁寧な管理と努力によってその品質が守られています。また、その小さな実にはアントシアニン、フェノリックス、葉酸など現代人にうれしい豊富な栄養が詰まっています。今年も6月中旬には道の駅藤樹の里あどがわ(同市安曇川町青柳)で生果実の販売が予定されているほか、市内各所では焼き菓子



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

【アクセス情報】道の駅藤樹の里あどがわはJR安曇川駅から徒歩約15分。車の場合は、名神高速道路京都市東インターチェンジ(IC)から約50分。道の駅0740(32) 8460

などの加工品(通年販売)も手に入ります。爽やかな酸味と華やかな香りはスイーツとの相性も良く、高島ならではの初夏の味覚として親しまれています。地域の人々の手で大切に守られてきた存在でもあり、限られた季節にだけ味わえるアドベリー。その一粒に込められた地域の思いと自然の恵みを、この初夏にぜひ感じてみてはいかがでしょうか。(びわ湖高島観光協会・金村あさひ)